

各企業の社会貢献

車いす3台を寄贈

宮坂建設工業が帯広市に

こととして4回目の取組



【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は二十三日、帯広市に車いす三台を寄贈した。同社の宮坂社長ら三人が市役所を訪問。米沢則寿市長に目録を手渡した「写真」。

同社では会社や各現場で発生する廃品について、回収業者との間でリサイクルポイントを取り決める制度を活用。ポイントで車いすを購入し、帯広市のほか、

支店のある札幌市と釧路市の三つの自治体に車いすを寄贈しており、こととして四回目。こととしては今月十六日に札幌市と釧路市に寄贈しており、この日寄贈した帯広市分も

含めると四年間で累計三十六台を寄贈した。

寄贈後の歓談で宮坂社長は「寄贈はこととして四年目。我々はインフラを整備しており、エンドユーザーである地域住民のためを考え、自然体でボランティア

を行っている。車いすも消耗品であるため、今後も取組を続けていきたい」と話した。

米沢市長は「大変ありがたい。自治体の運営は住民の皆さんの協力の上で成り立っているということをお互にあらためて実感した」と感謝の意を表わした。